

－労働と教育の場「雑草」・ごはん☆あらぐさ・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だより－

あらぐさニュース

2022.01

Vol.84

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方 438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

2022年、新成人のお二人です!

成人式



雑草では今年も無事、新成人をお祝いすることが出来ました。今年成人された方は2名。都野さんに岡島さん、おめでとうございます！ いつもはパンや菓子製造に携わり、他のなかまに負けない働きをしてくれているお二人。祝う会の最中でもあまり緊張した様子はなく、どこか堂々とした様子で椅子に座り、いろいろな質問に答えてくれました。お祝いの言葉をもらえばもちろんにっこりと笑顔。会の終わりにお祝いの歌を送りましたが、みんなに混じって歌う姿は、もうすっかり雑草の一員。これからも若さと元気さで雑草をにぎやかにして行ってくださいね！ 他のなかまたちも、頼れる大人の先輩として頑張っていきましょう！

(佐藤)

新成人の紹介

♡都野 莉那さん♡





12月までクッキー班で活躍していた都野さん、成人おめでとうございます！エースと言っても過言でもない働きっぷりでその作業スピードは誰もが驚く速さです。絶好調の時には菓子室に素敵な鼻歌が響きます。クッキーが好きで、特にチョコチップクッキーを愛してやみません。作業中でも休憩中でも、都野さんの行動や発言は菓子班の皆を楽しい雰囲気にする力がありました。これからも、都野さんの無限大の可能性を信じて猛進してください!! (川津)

ご成人おめでとうございます！こぼんから成人を迎えるのは、こぼんに来て一年が経ちました岡島健太さんです。

健太さんは、毎朝誰よりも早くこぼんに到着し、工房に一番に入って仕事をします。朝早くから、言われた仕事を次々となし皆のお手本となるような動きをしています。「出来ました。次は何をしますか。」と、報告・確認もしっかり出来ます。パンの成形も一通りできるようになりました。最近ではコッペパンの成形がとても上手になり、焼き上がりもふっくら綺麗で好評です。休憩中はおしゃべりが大好きな人懐っこい健太さん。常に楽しそうな会話の輪の中に居ます。こぼんは女子が多いので皆に「岡島君、かわい〜〜！」などといじられ、毎日伸び伸び過ごしています。また頼もしい面もとても多く、「僕が運びますよ」と声を掛けてくれる心優しい健太さんです。

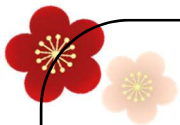
成人を節目に大人としての自覚を持ちさらに自信をつけてますます活躍する健太さんの姿が目に見えます。これからも一緒に美味しいパンを作って行きましょうね。

成人を節目に大人としての自覚を持ちさらに自信をつけてますます活躍する健太さんの姿が目に見えます。これからも一緒に美味しいパンを作って行きましょうね。

(小口)



☆岡島 健太さん☆



～きょうされん全国大会～

10月23日にきょうされん全国大会に参加しました。今回はコロナ禍のため、オンラインでの大会です。大きな画面で全国の加盟施設の仲間と交流しました。きょうされん〇×クイズで、あらぐさ

はクッキーの景品もついて大盛り上がり！皆さん食べ物があると強いです(笑)

昼食は久々の外食をしました！前々から楽しみにしていた仲間も多かったですね。それぞれのグループで、自分の好きなものを食べて楽しみました。あらぐさに戻ってから、「〇〇食べたよ」「おいしかった！」「また行きたい」と笑顔で教えてくれる仲間。我慢の多い日々ですが、タイミングを見計らって少しでも仲間達の楽しみを作っていければいいなと思います。（樋口）

仲間たちの感想

うれしかった

全国の皆さん、聞いた
みなさん おもしろかった

餃子がおいしかった
自分たちの歌っているところ
が見られて良かった

ここいちでカレーを食べておいしかった。
あらぐさでカレーくさいといわれてがっかり
しました(笑)



～きょうされん賛助会入会のお願い～

社会福祉法人 あらぐさ福祉会
労働と教育の場「雑草」
こぼん☆あらぐさ
担当：樋口

雑草は「きょうされん」という団体に入っています。「きょうされん」は、障害のある人々が地域で安心して働き、安定した生活が送れる社会を実現することを目指しています。

雑草だけでは難しい事を他の加盟施設と手を取り合い仲間たちの生活を楽しく、豊かなものにしようとしています。その為には皆さんの協力が大きな力となります。

一緒に障害のある人々を応援してみませんか??入会よろしくお願ひします!

賛助会員 年額 3,000 円/1 口

2021 年 あらぐさクリスマス!

クリスマスは年に一度きり！なかまの皆さんが楽しみにしている行事です。なのでコロナに気を付けながらも、今年もあらぐさクリスマス会を開催いたしました。なかまサンタになかまトナカイ、みんなで楽しむゲーム…スペシャルゲストなどはありませんでしたが、みなさん思い思いに楽しく過ごすことができました。



なかまサンタに囲まれて一発芸！ クリスマスを盛り上げるのは何もサンタだけではありません。次から次へと飛び入りでやってくるなかまの一発芸に拍手が出れば「ぼくも！」「わたしも！」と新たなチャレンジャーが温めていた芸や技を披露してくれ、会場は大いににぎわったのでした。



あらぐさのクリスマスといえば大ビンゴ大会！ どんなプレゼントが当たるんだろうとワクワクドキドキな瞬間です。しかし今年

なかなかビンゴが飛び出ず、だんだん集中していくなかまたち。その分、プレゼントをもらった時の喜びもひとしお。みんないい顔でプレゼントをゲットしていました。



新しい生活様式の中でも楽しく過ごせたクリスマス。でもやっぱり昔のようにみんなで大賑わいしたいですね。そのためにも、これからもコロナ対策を頑張って毎日を元気に過ごしていきましょう！

(佐藤)

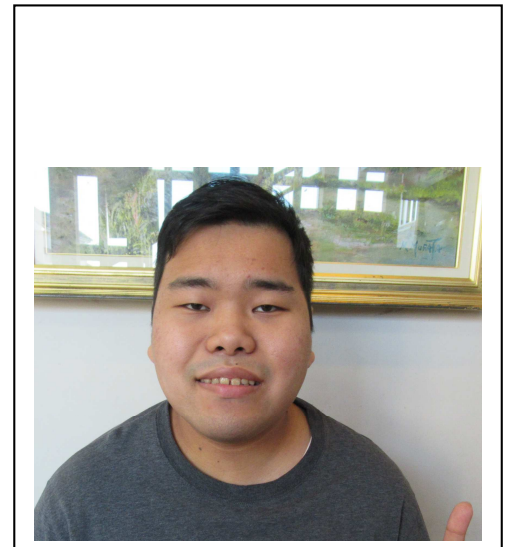
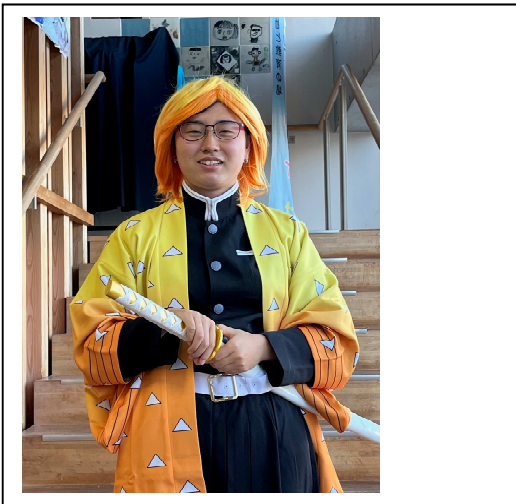
～クローズアップ～

あらぐさの仲間を紹介します。今回はこの2人！！

☆お家では…お家ではいろいろお手伝いをやってくれています。洗剤類は常に満タンになっていますが、賞味期限があるものも継ぎ足してしまうので、困っているところもありますが、助かっている事が多いです。自分時間では、YouTubeでお菓子作りの動画をよく観ています。作業に役に立っているか？ですが、お菓子作りが好きなんだと思います。あと折り紙や紙粘土でいろんなキャラクターや車など作っては飾っています。親に似ず手先が器用でよかったなと（笑）（母）

☆ホームでは…美穂さんは、第3ホームを利用している仲間の中で一番若い21歳です。入所してしばらくは新しくオープンしたばかりのホームの生活に不安があり一人になることが出来ず、就寝までの時間は職員と話しをして過ごしていました。今では仲間との交流を楽しんだ後は、自室でドラマや音楽番組を見て過ごすことが出来るようになりました。学校時代に『スポーツ大会陸上競技部』の大会に出場経験があり「またマラソンがやりたくなった!」「パラリンピックに出られるようにもっと頑張ってやればよかった!」等、学校時代の部活動を振り返っています。陸上クラブに参加の希望があるので、早くコロナ禍が落ち着いて若いエネルギーを発散できる活動ができればと思います。今は行動が制限されていますが、体がなまらないように自転車だけでなくウォーキングやランニングを日常に取り入れることを心がけてがんばっています。 (相良)

☆あらぐさでは…ブリヂストン班に所属しています。作業は丁寧でミスがないため様々な作業に取り組んでいます。仲間や職員との会話を楽しんだり、好きな鬼滅の刃の話



長引くコロナ禍に想う



新しい年を迎え、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

今年の干支は「虎」。虎は勇猛で孤高のイメージを持っていますが、今や棲息する地域の環境破壊や密猟などにより、個体数が激減していて絶滅の危機に瀕しているそうです。日本では、かつて虎の骨や体の一部を使用した医薬品を多く輸入し消費していたようです。現在は規制がかけられています。この虎の災禍も人間の強欲のなせる業です。そう思うと動物園で見る虎にも違った感情が湧いてくるのではないのでしょうか。

この2年のコロナ禍で、これまでの価値観を見直そうという動きが活発になってきています。そのひとつに、医療関係者をはじめとして介護職員・保育士・保健師などがエッセンシャルワーカーと呼ばれ、注目を浴びるようになりました。今さらながらですが、人間は生まれてしばらくは世話をされる状態が続き、その後も生きていく過程で、誰しもが病気・怪我・障害あるいは悲しみ・苦しみなどにより、何らかの形でケアが必要な状況になります。ケアを必要とする人々が存在するのですから、ケアをする人々の存在も必要なわけです。しかし、そういった人間が生きていくうえで必要不可欠であるケアをする人々に、これまであまり光があたりずに来てしまいました。凶らずもこのコロナ禍で、ケアをする人たちを社会的に認証するシステムがきちんと作られていなかったことが鮮明になり、何とか変えていこうという動きにつながっています。

そういった取り組みの影響もあり、国は分配戦略の柱として、この2月からケアワーカーの賃上げを行う方針を打ち出しました。しかし、現状の仕組みでは、賃上げの恩恵がどこまで降りてくるかは不確かです。また、賃上げされる額も心もとないものです。本気で分配しようとするなら制度の抜本的な見直しが必要です。

ようやくケアワーカーの重要性に社会が気付き始めたのですから、これを機にケアを基盤とする社会のシステム作りに思い切って舵をきってほしいと切に願います。そのことが明るい未来、継続可能な社会へ繋がっていくことと確信しています。

年明け早々に、再び新たな新型コロナウイルスの株が出現したかと思うと、あっという間に拡がってきています。まだしばらくは感染対策をしながらの不安な日々が続くそうです。どうぞご自愛なさってお過ごしください。

そして、本年もあらぐさ福社会をよろしく願いいたします。

(理事長 岩淵敦子)